

佐野市防災講演会  
第2部 自主防災組織活動報告  
日時 令和8年1月31日  
会場 あくとプラザ 大ホール

## 防災で紡ぐ地域づくり

3本の柱で育てる地域の防災力

下多田町自主防災会（下多田町会）  
佐野市立多田小学校  
田沼北部地区公民館コミュニティ協議会



## 下多田町・上多田町・山越町の位置

下多田町は北から南へ流れる秋山川と東武佐野線、国道293号線に囲まれた地域に多くの住宅が広がる。

下多田町の北に、  
上多田町、南に山越町が、それぞれ隣接し、田沼北部地区となっている。

上多田町

東武佐野線(至葛生)

国道293号線

秋山川



多田駅

国道293号線

山越町

東武佐野線(至田沼)

多田小  
避難所

本町

下多田町

安蘇川橋

秋山川

倭町

翠町

東町

田沼工業団地

多田大  
橋

# これまでの下多田町自主防災会の歩み

自主防災会設立準備期間  
防災訓練実施

平成27年～平成28年  
平成29年～令和7年



平成30年度下多田町自主防災会  
防災訓練～避難訓練～

2018.09.16

訓練スローガン  
できることから始めよう  
まずは徒歩で避難所へ

平成30年9月16日  
避難所 多田小体育館

# 下多田町会自主防災会・立ち上げのきっかけ

関東・東北豪雨 鬼怒川の氾濫

茨城県常総市

平成27年（2015年）9月10日

死者20 負傷82（全壊、半壊、浸水上下）2万戸以上

（古老の言葉）  
秋山川はこれまで  
氾濫したことはない  
これからも氾濫しないだろう  
本当にそう思う？

NO！

下多田町会  
「自主防災会」を立ち上げる

平成29年  
防災講話

受講者

町会役員

講師 危機管理課

平成30年

はじめの  
一步

下多田町

防災訓練

町会80名

市役所・消防

20名

はじめの一歩  
一下多田町・防災に取り組む一

平成30年9月16日 避難所 多田小体育館



佐野市  
下多田町会

平成31年（2019年）2月、3月  
「防災講演会」「佐野楽」で発表  
田沼中央公民館 佐野市文化会館

# 令和元年 大きな試練

下多田町自主防災会



秋山川越水寸前  
安蘇川橋 橋桁折れる！  
住民100名多田小へ避難

台風19号襲来  
令和元年10月12日

夜半、防災会は二次避難指示  
校舎3階へ垂直避難

台風19号（令和元年9月）  
町内で災害ボランティア募集  
下多田町役員・住民が参加  
被災者宅の汚泥除去支援活動へ  
大橋町・赤坂町

令和2年～4年  
コロナで  
訓練中止  
が  
数年続く  
避難所が  
開設不可

令和5年  
令和6年  
防災訓練  
再開

下多田町  
自主防災会

# 防災訓練の実際 ①

今年の防災訓練は主催者が増える

今年（令和7年）の防災訓練の特色

「3本の柱」で育てる地域の防災力

柱1



柱2

柱3



令和7年度 防災訓練 令和7年9月28日（日）

主催 下多田町自主防災会 多田小学校

田沼北部地区公民館コミュニティ社協協議会



役員会

（役員17名）

会長（1） 学識経験者  
副会長（8）

町会長（3） 公民館長 教育振興会長 民生児童委員代表

校長 教頭

事務局長兼会計（1）（専従）

事務局次長（1）（町会副会長）

部長（3）  
・ 北部公民館部長（館長）

・ 北部コミュニティ部長（町会副会長）

・ 北部社会福祉協議会部長（町会副会長）

監事（町会会計）（3）



協議会

（協議員26名）

公民館役員（3） 町内会長（12） 民生委員（6）  
環境衛生委員（3） PTA会長 子ども育成会長



# 3 本の柱



柱 1

町会

下多田町自主防災会（今年で防災訓練9年目）

柱 2

学校

佐野市立多田小学校

地域と共にある学校

(学校運営協議会=学校と地域住民との連携)

柱 3

地域の組織力を結集した新組織

学校と共にある地域

田沼北部地区公民館コミュニティ社協協議会

(町会・学校（校長・教頭）・公民館・コミュニティ・社会福祉協議会)

# <防災訓練 事前打ち合わせ開始>

(令和7年6月～8月)

下多田町  
自主防災会

危機管理課（3回の打ち合わせ）

- 今年度の訓練内容の相談
- 職員の派遣依頼



佐野市消防本部

- 第16分団の出動依頼
- 救急講習申請書
- AED講師派遣依頼



田沼北部地区  
公民館コミュニティ社協協議会

多田小学校（学校運営協議会）

学校  
子ども

多田小学校

学校運営協議会 6名

地域住民代表 5名 + 校長  
(地域防災訓練の提案)



3本の柱で育てる  
地域の防災力

地域住民  
子ども・大人・  
高齢者

地域住民の  
コミュニケーション・連帯感の醸成  
(地域力=防災力の強化)

下多田町自主防災会  
役員会 10名  
(防災訓練の企画・立案)



(新組織) 田沼北部地区  
公民館コミュニティ社協協議会  
役員会 17名 (毎月 第1火曜)  
3町会・校長・教頭・公民館・コミュニティ・社協  
(防災訓練の内容検討、周知)



行政の支援

佐野市役所

(危機管理課、市民生活課、  
田沼北部地域担当職員、避難所開設担当職員)

佐野消防本部

(消防本部、**消防第16分団**)

# 防災訓練の実際 ②

## 訓練の内容

### 令和7年度 防災訓練実施要領

日時 令和7年9月28日（日）午前9時

避難所 多田小学校  
(教室・家庭科室・体育館・校庭)

想定 栃木県南部を震源 マグニチュード7の地震が発生

参加者 約200名



# 参加団体（地域 学校 行政）



佐野市消防本部・第16分団



開会あいさつ  
下多田町自主防災会



危機管理課・市民生活課



地域住民  
田沼北部地区公民館コミュニティ社協協議会



多田小学校（子ども・教職員・保護者）  
学校運営協議会

下多田町自主防災会  
現場本部



## 訓練内容一覧

- ① 避難訓練（自宅から徒歩で避難所へ）
- ② 情報伝達訓練（避難人員報告・被害状況報告）
- ③ (グループ研修) 消火訓練
- ④ (グループ研修) 救急救命訓練 (AED)
- ⑤ (グループ研修) 避難所開設・運営訓練
- ⑥ 炊き出し訓練 (防災食 試食)
- ⑦ 引き渡し訓練 (児童を学校から家庭へ)
- ⑧ 防災講話 「避難所での外国人避難者への対応」



## ①避難訓練

## 避難者受付の準備



訓練参加者が増えたので、受付テントを2張用意して対応



2025/09/28

## ②情報伝達訓練（避難者人員報告）

確認結果を自主防災会会长へ報告



避難誘導部長  
避難完了者数を  
防災会会长に報告



## ②情報伝達訓練（被害状況報告）

第16分団長から被害状況について  
報告を受ける下多田自主防災会会长



町内を巡回した  
第16分団長が  
巡回結果の報告中

台風19号の時、第16分団長から避難所へ「**秋山川越水の危険が迫っている**」との巡回報告で、  
自主防災会は避難者を体育館から校舎3階への  
**垂直避難**を実施

# グループ研修 (3班編成でローテーション)



- ③ 消火訓練
- ④ 救急救命訓練 (AED)
- ⑤ 避難所開設・運営訓練



消火訓練 (水消火器)



救急救命訓練 (AED)

### ③消火訓練

水消火器で「さあ、火を消すぞ」



## ④救急救命訓練 (AED)

みんな真剣 心肺蘇生の体験実習



心肺蘇生を  
救急車が来るまで  
続けよう

## ⑤避難所開設・運営訓練

みんなで段ボールベッド  
簡易トイレを作ろう



みんなで  
段ボールベッド  
と簡易トイレ作り



## ⑥炊き出し訓練

家庭科室から非常階段を通ってお湯が届いた  
さあ 準備開始！

- ・家庭科室で湯沸かし (校舎3階)
- ・非常階段を利用して、ポットに入れた湯を運び、体育館で防災食に湯を注ぎ食べられるように準備
- ・自主防災会の防災食の担当町内の役員が、避難者へ配布



## ⑥炊き出し訓練

みんなで試食会 なかなか おいしいね  
おとなりさんと 話も弾む



今日のメニューは  
ドライカレーと山菜おこわ  
おいしいね



## ⑦引き渡し訓練

災害時、安全に子どもたちを  
保護者のもとへ

非常災害発生時、学校は保護者に連絡し、  
子どもたちを学校まで迎えに来てもらい、  
安全に引き渡すことを行っている



教頭先生が  
訓練の概要を  
説明



## 防災訓練の実際 ③

### 講話と訓練後の反省

#### ■ ⑧ 防災講話

「避難所における外国人避難者への対応」

講師 危機管理課職員

■全校合唱（多田小学校児童）

■防災訓練を終えて



## ⑧ 防災講話

### 「避難所における外国人避難者への対応」

講師 危機管理課職員



講話後の熱心な質疑応答

♪ 避難所に響く 子どもたちの明るい歌声 ♪



# 防災訓練を終えて

防災訓練後、

「学校運営協議会（多田小学校）」

「田沼北部地区公民館コミュニティ社協協議会」

「下多田町自主防災会」合同で反省会を開催

「3本の柱」で今回の事業の  
振り返り・検証を行った。





# 「学校運営協議会（多田小）」「下多田町自主防災会」「田沼北部地区公民館コミュニティ社協協議会」 で出た意見、感想

- 当日の準備、保護者の受付など高学年が進んで活動していた。  
避難所でも、自分から動ける児童を育成していきたい。
- 地域と学校が連携して防災訓練を実施したことで、地域住民・  
児童・保護者との横のつながりが深まった。
- 消防団員の父親の姿を見て「かっこいい」と笑顔を見せていた  
児童がいた。消防団員のモチベーションもあがる。児童にとって  
も、地域の一員としての防災意識だけでなく、自分にもできるこ  
とはないか考えるよい機会になったのではないか。

- 家庭科室を使って炊出し訓練を行い、学校に避難した際の学校施設を活用することを念頭にした訓練ができた。
- 防災テントなど下多田町自主防災会の物品を学校で活用してほしい。
- 「3つの柱」が連携して実施できてよかったです。



# 防災訓練の振り返り・検証、その後



来年度も

多田小学校・田沼北部地区公民館コミュニティ社協協議会・

下多田町自主防災会と一緒に訓練をやれるといいね、との**声**

「3つの柱」で来年も防災訓練を続けることを決めました

地域は、少子高齢化が進んでいますが、  
「子ども、大人、高齢者」  
皆、一人ひとり、大切な人、地域の一員です。

防災訓練をきっかけとして、  
これからも地域住民が笑顔で暮らせる地域社会  
を作っていくこうと思います。





## 防災訓練 閉会あいさつ

ご清聴  
ありがとうございました









